

美山創造計画 グランドデザイン 進捗報告書



2022.03.03
糸魚川商工会議所
産業創造プラットフォーム
美山プロジェクトチーム

1. 美山プロジェクトの理念・全体像

美山プロジェクト理念

美山プロジェクトは、市民・企業・行政連携プロジェクトとして
「心地よさをつくる」ことを軸に、
持続可能なコミュニティ活動、事業開発を通じた経済基盤づくり
～「内なる経済循環」と「外から稼ぐ力」～を实践する場を目指します。

美山はかつて縄文の集落であり、翡翠という地域の天然資源を
加工・高付加価値化し、外部との交易・文化交流の拠点でした。
縄文糸魚川人に倣い、自然を体感、地域資源の再発見を通じて、
次世代の糸魚川の生活文化・経済・子どもの活力を創造していきます。

地域の経済基盤と世界に誇れる事業づくり

- 地域の文化歴史を学び、体験、アップデートする
- 「心地よさをつくる」ための拠点づくり
- 事業化・拠点としての仕組みを整備する

縄文からの営み、生命力の文化を発信する

- 遊び、学ぶ場としての体験、交流イベント
- 各施設・キャンプ場の利用者数アップ、収益強化
- 地域での経済循環と、子どもむけ商品開発

美山の価値を再発見し、世界に固有な場とする

- 糸魚川の様々なコミュニティ、事業者の活動拠点
- アウトドア、アドベンチャーツーリズムの拠点
- 市民と旅行者が様々な目的で利用、交流できる場所

自然との共感、未来へのヒトの力を育む

- 情報発信のツール整備
- 継続的な情報発信のための仕組み、仕掛けづくり
- チーム体制と役割分担、スケジュール整備



糸魚川の未来を灯す場所

海からほど近い台地の、森の中の湧水のほとり、
北に日本海、南に白馬岳姫川、西に黒姫山、東に焼山を見渡す場所に
縄文糸魚川人は3000年にわたって、大きな集落を営んでいました。

天気の良い日には能登半島と佐渡島をのぞみ、
悠大な海の回廊と峻険な山の回廊をめぐって
日本各地さらには朝鮮半島からの人々や物資が行き来しました。
糸魚川を発つ人々の手には、
塩とともによく磨かれた石斧や翡翠がありました。

大地から生まれ、水辺に辿り着いた色とりどりの石たちは
自然により添い、ときには自然の脅威から身を守り、
大切な人と安全にすまう場所をつくり、
大切な人を笑顔にするための道具でした。

大切な人と心地よく、しあわせに生きたいと願う気持ちは
いまの私たちと変わらないことでしょう。

美山の森での、6000年前の未来との出逢い。
自然に遊び、学び、育つ、100人の手からは100通りのくらしが生まれます。
次の世代を育む「心地よさ」が、美山から始まります。

美山の全体デザイン・プランニング

“美山プロジェクト”の持続的競争優位性をつくる

- ・継続運営主体
コミュニティ事業、アウトドア・ツーリズム事業のプランニング
よりよい運営のための民公連携、条例など枠組みづくり
- ・美山プロジェクトのブランド化・発信（Web/SNSなど）
- ・SDGs、教育などを通じた、市民への貢献価値を創造する

コミュニティ事業

市民向け、新しい美山スタイルの提案

- ・週末を中心に、美山公園でのイベント運営（BBQ、WS、屋台ブースでのテストマーケ）
- ・年間イベントカレンダーを作成告知（ミニイベントの同時開催、屋台ブース募集）
- ・市民クラブハウスの活用（雨天時、合宿、修学旅行、休憩飲食スペース他）

アウトドア・ツーリズム事業

広域ターゲット向け、縄文アウトドア運営

- ・糸魚川の「縄文」をブランド化する
- ・キャンプ場などのアップデート及び商品、体験アクティビティを開発
- ・ツーリズムイベントを企画、開催（塩の道トレッキング、キャンプ、サイクリングなど）
- ・海外に向けて、縄文オンラインツアー発信

美山の全体デザイン・プランニング

“美山プロジェクト”の持続的競争優位性をつくる

美山公園活用の
基盤づくり

質的ICTライフ
社会の実現

プロジェクトの
メディア化

コミュニティ事業

市民向け、新しい美山スタイルの提案

協働による
集合知モデル

出会い繋がる
ミックスアップ

アウトドア・ツーリズム事業

広域ターゲット向け、縄文アウトドア

クロスローカル
交易交流の文化

縄文スタイルの
アップデート

コミュニティ事業について

(1) あそぶ・まなぶプログラム、イベントを開催

- ・体験広場を拠点にイベントを実施
- ・年間スケジュールを整備し、ミニイベントの同時開催、イベントへの集客、公園内の周遊を増やす

(2) 拠点（ツリーハウス・クラブハウス）づくり

- ・長者ヶ原遺跡公園体験広場のあずま屋テーブルにBBQセットを据え付け、ランチ時の利用・交流を可能にする
- ・縄文ツリーハウスの制作など、ブッシュクラフト・DIYを実践しながら、公園内の拠点として整備する
- ・イベントの雨天時、休憩や飲食スペースとして、市民クラブハウスの活用を案内する

(3) 市民の商い、なりわいチャレンジの場づくり

- ・ミニイベント時などに、屋台ミニブースでのテストマーケティングを実施する

(4) 関連商品・サービスの開発

- ・「美山ライフスタイル・フォトブック」を制作
- ・ベビー、子ども、家族向けの商品・サービスの開発をサポート、テストマーケティングの場を提供する



アウトドア・ツーリズム事業について

(1) “縄文”のブランド化、関連事業を検討

- ・“縄文”をキーワードとした商品サービスを開発
- ・体験、グッズ化などによる収益化を検討

(2) キャンプ事業の検討、推進

- ・キャンプ場のアップデート、事業計画・運営計画づくり
- ・キャンプ場利用者が参加できる、美山・市内の体験アクティビティ開発

(3) ツーリズム事業の検討、推進

- ・アドベンチャーツーリズムをはじめとした糸魚川での滞在価値、魅力づくり
- ・美山の地域資源を活用し、市内の周遊と組み合わせたツーリズムイベントを開催

(4) 関連商品・サービスの開発

- ・市内での創業、副業などの小商、新規事業サポート
 - －アウトドア関連の商品開発
 - －食の物販、サービス提供
- ・体験アクティビティのサービス提供

etc.



美山公園 年間活動カレンダー



通年、週末を中心に
賑わう状態を目指す

中長期事業計画

	初年 2020年	2021年	3年目 2022年	5年目 2024年	10年目 2030年
初 年 度 検 討 内 容	美山公園と糸魚川 資源の発掘	■コミュニティ事業 ・体験広場の整備計画 ・市民クラブハウスの 活用計画 ・体験イベント開催 - ピクニック - 縄文トレッキング	・美山スタイルの 自立分散型	・美山総合開発計画	
	参加事業者との 実証実験開催		・ベビー・キッズ商品開発	・美山アカデミー	
	美山公園内の 拠点を検討開始	■アウトドア・ツーリズム事業 ・美山キャンプ場の アップデート計画 ・BBQ計画	・キャンプ場整備計画 （以降、随時整備） ・ツールド糸魚川 2022	・アウトドア体験 プログラム開発 ・ハンモックテント、 めまい体験など 旅行者向け施設設置 ・アウトドア商品開発	
	ランドデザイン 策定	・縄文キャンプ開催 ・ツリーハウス WS ・ツールドニッポン in 糸魚川		・テストマーケ用 タイニーハウス設置	・タイニーハウス整備
	チラシ配布や SNSを通じて 市民に活動、 イベントを告知	■トータルデザイン・プランニング ・年間カレンダー ・美山縄文スタイルブック ・Web、SNS、Youtube計画	・コンテンツ計画	・EC整備 ・美山の管理→条例の制定	・事業主体→事業会社設立準備

美山公園の未来図



2.美山プロジェクト実証実験

実証実験（1）長者ヶ原遺跡実習棟エリアへのツリーテラス開発・設置

美山公園での滞在をより楽しく、登る、遊ぶ、お弁当を食べる、集う、様々なスタイルがあることを伝えるべく、ツリーテラスの開発・設置の実証実験を行った。

ツリーテラスは、正方形の板を組み合わせ、縦横を広くしたり、積み重ねて高さ・段を作ったり、広場にに合わせて形状を設定できるものとした。

商工会議所 産業創造プラットフォーム3Mチームと連携し、商材として開発。また糸魚川産の杉材を用いたことにより、屋外での腐食が懸念されていたため、市内企業が開発した防腐剤を塗布し、屋外での耐久度を検証するものとした。



実証実験（1）長者ヶ原遺跡実習棟エリアへのツリーテラス開発・設置

日程：2021年9月18日、10月2日

9～10月にかけての週末を数回に分けて、メンバーが集まり、作業を行った。

まずは9月にツリーテラス制作に向けて、美山公園の該当場所の清掃、薪置き場の設置を行った。

その後、初期加工を施した建材に、防腐剤を塗り、充分な乾燥を行った。



実証実験（1）長者ヶ原遺跡実習棟エリアへのツリーテラス開発・設置

日程：2021年10月16日、17日

前もって、防腐剤を塗布したテラスを2日間かけて、組み立てを行った。当初予定していた、お披露目イベントは新型コロナウイルス感染拡大のために中止とした。



実証実験（2）冬季の美山公園の利用・美山スノーパーク開催

現在、美山公園は冬季期間中はフォッサマグナパークと長者ヶ原考古館をのぞいて、各スポーツ施設やキャンプ場は休場されている。冬季期間のキャンプ場や長者ヶ原遺跡広場のアクティビティの可能性を探るべく、実証実験と発信につながるビジュアル撮影を行った。

- ツリーテラスを利用したブランコ、木登り
- 縄文トレック（スノーシュー） ● ジビエの昼食など



実証実験（3）Paper Skyチームとの合同糸魚川HIKE&BIKEツアー商品造成

ツーリズム事業のツアー商品造成の実証のために、PapaerSkyチームと合同で、糸魚川の人や企業の魅力、塩の道などの取材をサポート。またその取材をもとにしたハイキングやサイクリングを組み合わせた、ツアー商品造成を行った。同時にプロモーション用の動画の作成も実施した。

当初は今年度の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、実施は次年度へ見送ることとなった。

JP: <https://papersky.jp/videoagency/tour-de-nippon-itoigawa/>

EN: <https://papersky.jp/en/videoagency/tour-de-nippon-itoigawa/>

<行程案>

1日目

- ・塩の道ハイキング（平岩～根知）
- ・根知での交流パーティ

2日目

- ・長者ヶ原遺跡を散策
- ・海、山の里山をめぐるサイクリング、各種体験



3.美山公園内のエリア修繕状況について

美山公園エリア修繕 キャンプ場の整備について

今年度、糸魚川市の美山公園整備・伐採計画があり、美山プロジェクトメンバーが利用方法ヒアリングなどに協力を行なった。

- ・キャンプ場から海が臨める眺望
 - ・キャンプ場内のテントの配置、自動車での荷下ろし、荷積み導線
 - ・キャンプ場からトイレへの導線
 - ・トイレの設備改善提案 など
- 上のような視点から、提案を行い、伐採の際の眺望などは実現した。

今後も利用者にとって、より良い利用方法や快適な環境整備を提案していきたい。



4.次年度の活動内容やグランドデザイン修正点

来年度の活動について

昨年度、今年度の活動を通じて、「継続的に美山公園での活動を行うこと」「イベント運営ノウハウ」「メンバー数の増加、他団体との協業」などのベースができてきたと考える。

来期以降はよりプロジェクト自体の収益化・事業化に向けたステップに取り組んでいきたい。とくに令和4年度4月の市民クラブハウスのリニューアルオープンを受けて、室内休憩所・雨天時や冬季の活動場所が確保されることもあり、より利用者増を見込むことができる。

収益の一部を、美山公園美化・活用に充てることで、美山プロジェクトが関わることで、美山公園が整備され、活性化することを目指し、糸魚川市との枠組みを整備したい。

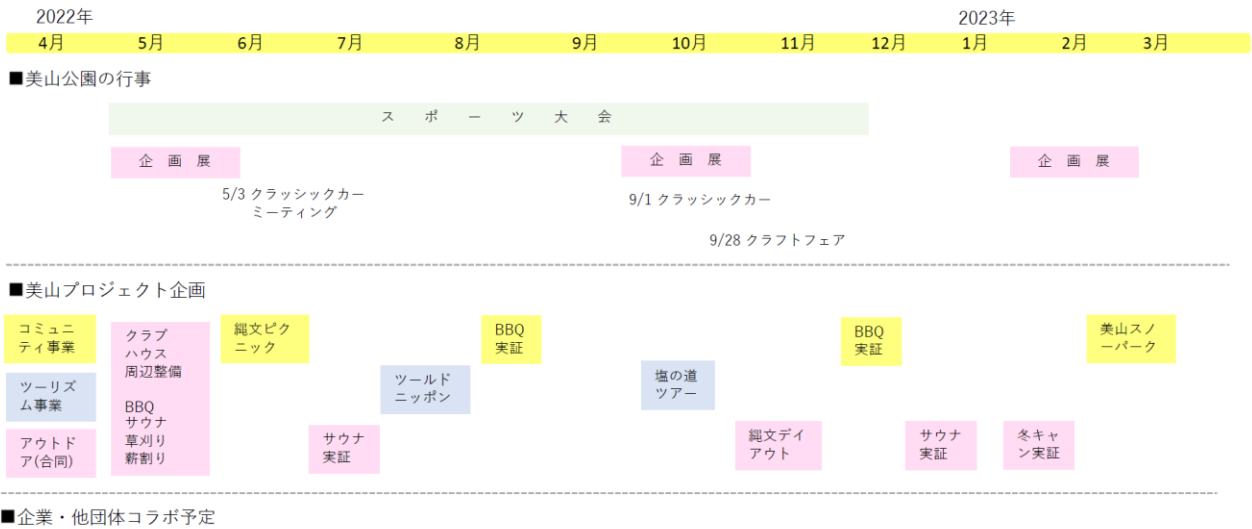
【来期重点事項】

事業化への準備として、以下に

- 全体デザイン（事業ドメイン・ビジョン・戦略策定、コア人材育成）
 - コミュニティ事業の収益化実証実験（薪割り・BBQなど）
 - アウトドア事業の商品造成と販売方法の検討
- 縄文サウナ / 縄文トレッキング
塩の道ツアー など商品造成と販路開拓
縄文キャンプ 学習プラン実証実験（2泊3日）



美山公園 令和4年度 年間活動カレンダー



中長期事業計画

	初年 2020年	2021年	3年目 2022年	2023年	5年目 2024年	10年目 2030年
初年度検討内容	美山公園と糸魚川資源の発掘	■コミュニティ事業 ・体験広場の整備計画 ・市民クラブハウスの活用計画 ・体験イベント開催 - ピクニック - 縄文トレッキング	美山スタイルの自立分散型	・美山総合開発計画		
	参加事業者との実証実験開催			・ベビー・キッズ商品開発	・美山アカデミー	
	美山公園内の拠点を検討開始	■アウトドア・ツーリズム事業 ・美山キャンプ場のアップデート計画 ・BBQ計画 ・縄文キャンプ開催 ・ツリーハウス WS ・ツールドニッポン in 糸魚川	キャンプ場整備計画(以降、随時整備) ・ツールド糸魚川 2022	・アウトドア体験プログラム開発	・ハンモックテント、めまい体験など旅行者向け施設設置 ・アウトドア商品開発	
	ランドデザイン策定				・テストマーケ用タイニーハウス設置	・タイニーハウス整備
	チラシ配布やSNSを通じて市民に活動、イベントを告知	■トータルデザイン・プランニング ・年間カレンダー ・美山縄文スタイルブック ・Web、SNS、Youtube計画	・コンテンツ計画	・EC整備 ・美山の管理→条例の制定	・事業主体→事業会社設立準備	